

Young Adult 通信 vol. 84

Young Adult 通信は中学生・高校生向けのお便りです。

(2023年度)

YA特集展示 イラスト展

市内の中学生が描いてくれたイラストです。
YAコーナーで特集にあわせて展示します。
ぜひご覧ください☆



令和5年 10月発行



YAイメージキャラクター
「読書キュー」

★印は五中若草学級(特別支援学級)の生徒さんの作品です。

4-6月 部活しか勝たん。



ら璃あ.&り海る.さん(塩浜学園)



★ドリフトさん(五中)



hokuさん(五中)



おろちゆうさん(五中)



ミツク.さん(南行徳中)



★伸作さん(五中)



ノーマル三世さん(五中)

7-9月 宙~そら~



ハンバーグ!!さん(塩浜学園)



ふあふあわたあめさん(塩浜学園)



ゆき犬さん(塩浜学園)



カフェ・ラテさん(五中)



ATM田中さん(五中)



アメさん(五中)



ココナッツさん(五中)



かたきはとった^^TMさん(五中)

10-12月 この本にきゅんです。



おにぎりさん(塩浜学園)



I.T.C. ぼたもちこさん(五中)



ためき娘!!さん(三中)



ぼんさん(五中)



ぬこさん(南行徳中)



さくらの塩漬けさん(五中)



★岩本愛奈さん(五中)



★グラタンさん(五中)



カマボコさん(五中)



せんとさん(五中)



Rです!さん(五中)



ハルさん(五中)



ベリカンさん(五中)



ナルト(食用)さん(五中)



太鼓を叩く春巻きさん(五中)



★ミッキーさん(五中)



★心結さん(五中)



Rabbit girlさん(南行徳中)



恋するクジラさん(八中)



野良猫さん(八中)



NEW!

♪ 新しく入った本の一部を紹介します ♪

『つる子さんからの奨学金』

まはら三桃 / 作 (偕成社 2023.3)

中学2年生のわかばの一家は、曾祖母のつる子の家に集められた。そこでつる子から提案されたのは、ひ孫のわかばと樹に奨学金として高校の学費を出すということ。条件は、今の実力より1ランク上の高校への進学だということ。優秀な樹と違って、自分は実力に見合った高校に行けばいい、と気楽に考えていたわかばだったが、次第にチャレンジすることの楽しさを知っていく。



『ジェイク・ランサムとどくろ王の影 上・下』

ジェームズ・ロリンズ / 著 桑田健 / 訳
岩崎美奈子 / イラスト (竹書房 2022.12)

両親と同じ考古学者を目指す13歳のジェイクと姉のケイディは、ある日不思議な力によって異次元の世界に引き込まれてしまう。そこは、古代ローマ人、マヤ人、ネアンデルタール人までもが一緒に暮らし、恐竜を馬のように乗りこなすような時間と空間を超えた"カリプソス"という町だった。しかし、この町を支配しようとたくらむ邪悪な王がせまり、闘いははじまる。



『リブリアの魔女』

日野祐希 / 著 くらはしれい / 絵

(アリス館 2023.2)

リブリア魔法学院を卒業したメノア・ヘーゲンは、魔導師になるために、従妹のリリーナの紹介で伝説の魔導師シェリル・デュランに弟子入りの志願に行く。

シェリルは普通なら弟子を取らないのだが、特別にチャンスをもらえ、一か月間、魔導書を作る工房で住み込みで働き、最後に試験に合格したら、弟子にしてもらえることになる。



『イコ トラベリング 1948 -』

角野栄子 / 著 (KADOKAWA 2022.9)

終戦から3年後の1948年、13歳のイコは疎開先から戻り、私立の女子校に編入する。同級生にも、父の再婚相手にも遠慮があって、居心地のよくないイコは、今の環境を変えたくて日本にどんどん入ってくる英語や外国文化に強い憧れを抱く。敗戦の匂いがまだ残る時代、好奇心は強いけれど努力は苦手なイコの10年間の物語。

『イコ トラベリング 1948 -』
角野 栄子 KADOKAWA



『星の町騒動記 ~オオカミさまあらわる~』

榎崎茜 / 著 山口法子 / 画

(理論社 2022.6)

町に伝わる伝説の聖獣「オオカミさま」が見つかった。とても聖獣には見えないが、それをきっかけに町おこしに躍起になる大人たち。神社の家に生まれた中2のワタルもいやおうなくその騒ぎに巻き込まれていく。父親の失踪、クラスのいじめ問題、町の同調圧力など、ワタルは何を思い、どう行動するのか。キーワードは「バタフライ・エフェクト」。



『宇宙最強物質決定戦』

高水裕一 / 著 (筑摩書房 2023.2)

宇宙物理学者の著者が、宇宙全体のさまざまな物質を擬人化し、宇宙最強の物質をバトル漫画のように説明しています。

「大きさ」「重さ」「電気」「速さ」の4つの指標でいったいどの物質が一番強いのでしょうか？星々はもちろん、銀河、ブラックホールやブラックマターが競います。



『バンピー』 いたうみく / 著 (静山社 2022.10)

「しばらく留守にします。金のことは心配しなくていい。妹たちをたのみます」このメモを残して父は姿を消した。母は病気で亡くなったので、高校生の成が3人の妹たちの世話をしながら学校に通うことになった。そんなある日、妹が万引きしたので引き取りに来てほしいと連絡が入る。ところがそこにいたのは見ず知らずの女子高校生。この人はいったい誰？

男子×スカート
舞台は千葉！

『笹森くんのスカート』 神戸遙真 / 著 みずす / 画 (講談社 2022.6)

ジェンダーフリー制服を導入した高校。新学期、笹森くんがスカートを穿いてきた。「穿きたかったから、穿いている」と彼は言うが、クラスではいろんな憶測が飛び交う。笹森くんのスカートをきっかけに、見た目や、体質、家族のことなどそれぞれの悩みに向き合うクラスメイトを描く。

絵もズラータが書いてます

『ウクライナから来た少女 ズラータ、16歳の日記』 ズラータ・イヴァシコワ / 文・絵 (世界文化ブックス 世界文化社(発売)2022.10)

2022年2月24日、この本の著者、ズラータがすんでいるウクライナのドニプロで爆音が聞こえた。戦争が始まったのだ。憧れの日本に避難をすることになった著者の苦難の体験日記。

『漢字が日本語になるまで 音読み・訓読みはなぜ生まれたのか？』 円満字二郎 / 著 (筑摩書房 2022.7)

「跳び箱」と「飛び箱」どちらが正しい？「米」を”まい”「豆」を”とう”と読むことがあるのはどうして？意外と知らない漢字が、どう日本語に変化し、なじんでいったのか。当たり前前に存在している漢字について、へえ〜という発見がある本です。

担当者のつぶやき

📖今年読書の秋ではなく読書の夏でした〜。秋も読むぞ！

📖市川東高校の図書委員会がおすすめの「本棚」もう見ましたか？ぜひ見に来てね!! (10月29日まで)

